

第1学年 特別活動 学習構想案

日 時 令和7年7月14日（月）第2校時
場 所 1年1組教室
指導者 教諭 井上 加代子

1 単元構想

単元名	「ひなんリュックに なにいれよう」
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）	
災害時、自分や家族の身を守る方法の1つである「避難リュック」に関心をもつとともに、備えることの大切さを知り、自分や家族にとって必要なものを考えることができる児童	
単元を通した学習課題	本単元で働かせる見方・考え方
避難リュックには、何が入っているのかな？	災害から身を守る方法の1つである「避難リュック」について知り、備えることの大切さに着目し、安全な避難行動や命を守る行動につなげること。

2 本時の学習

- (1) 目標 避難リュックについて知り、災害時の避難するときに必要なものを考えることができる。
(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>①災害が起きた時どこに避難するか考える。</p> <p>②避難訓練の写真を提示し、気付いたことを発表する。</p> <div>【学習課題】 避難リュックを備える（準備する）のは、なぜ大切なのかな。</div> <div>【めあて】 ひなんりゅっくに なにをいれたらよいか かんがえよう。</div>	<p>○地域での避難場所について尋ねることで、防災学習の意欲を高めるようにする。</p> <p>○他地域や球磨村の避難訓練の写真を提示し、避難する人々が「避難リュック」を背負っていることに気付くようにする。</p>
展開	35分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>①避難の想定を知る。</p> <p>②「ひなんリュック」に何を入れるか個人で考える。 (共通実践事項1)</p> <p>③友達とリュックの中身について交流する。 (共通実践事項2)</p> <p>④全体に広げる。</p> <div>【期待される学びの姿】 避難するとき、リュックの中に何が入っていたら役に立つか考え、備えることの大切さに気付いている。</div> <div>【まとめ】 「ひなんリュック」を準備しておく、安心して避難できるし、自分の命を守ることにつながる。</div> <p>⑤スライドを見る。</p>	<p>○大雨が降り続き、避難場所に家族と避難するという想定で避難リュックを考えるようにする。</p> <p>○一人一枚ホワイトボードを使って、避難グッズを貼り、リュックの中身を考えられるようにする。</p> <p>○リュックの中身について、理由を言いながら交流できるようにする。</p> <p>○リュックの中身を全体で共有できるようにする。</p> <div>【具体の評価規準】態① ○避難するときに必要なものを考え、自分なりの避難リュックを作ろうとしている。(方法：発言・態度)</div> <div>【到達していない児童への手立て】 ○ヒントコーナーにいき、カードを見て気付かせるようにする。</div> <p>○「ひなんリュック」のポイントを説明し、備えることの大切さに気付くようにする。</p>
終末	5分	<p>3 学習を振り返る。</p> <p>○今日の振り返りをする。(共通実践事項3)</p>	<p>○振り返りの視点①②④</p>

3 指導に当たっての留意点

【視点1】「状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する力を身に付ける授業の工夫」

手立て2：子供が問いをもち、主体的に学ぼうとするための資料提示や課題設定の工夫

- 低学年という発達段階に応じた、教材教具を準備し、「ひなんリュック」の中身を考えることを通して備えることの大切さに気付かせ、単元の学習課題につながるようにする。